

春

竹久夢二

青空文庫

時

ある春の晴れた朝

所

花咲ける丘

人物

少年

(十三歳位)

少女

(十一二歳)

先生

(小学教師)

猟人

(若き遊猟家)

兎

(十二三歳少女扮装)

舞台は、桜の花など咲いた野外が好ましいが、室内で装置する場合には、緑色の布を額縁くわんとして画くきり、地は、春の土を思わせるような、黄土色の布か、緋毛氈ひもうせんを敷きつめる。背景は、神経質な電気の反射を避けるため、空も山も花も草も、それぞれの色の布を貼はりつけたものを用う。すべて舞台の装置も、演出も、神経的でなく、子供の本能と情操とが想像した、愛らしい朗ほがらかな春そのものの創造であること。

扮装ふんそうは、少年少女は平常着ふだんぎのままでも好よい、その他ほかは子供の空想の産物で好いが、先生は威厳を損じない程度にのどかな人物であること、獵人かりうどはずんぐりしていて意気なあわてもの、兎うさぎは

フランネルのマスクを被^{かぶ}る。

第一景

幕があくと、舞台裏から左の唱歌が、だんだん近づき、舞台下手から少年少女が歌いながら登場。

さくら さくら

やよいの そらは

みわたす かぎり

かすみか くもか

少年少女が登場すると、舞台裏でもその唱歌を少し遅らせて、
山彦やまびこの心持で歌う。

少女「おや！ 兄さん、誰か山だれの向うでも歌っていてよ」

少年「うそだよ、きつと夏なつちゃんなつの空耳だろう」

少年歌いつづける。少女耳をすます。

においぞ いずる

いざや いざや

みに ゆかん

少女「いいえ兄さん、よく聞いて御覧なさい……ほらね」

少年「ああ、ほんとだ、誰だれだろう」

少女「ね、兄さんもつと何か言つて御覧なさい」

さくら さくら

やよいの そらは

少年歌いながら首を傾かたむ、舞台裏でも歌を真似まねる。

少年「誰だ！」

山彦「誰だ！」

少女おどおどと少年に寄添う。

少年「真似をするのは誰だい」

山彦「真似をするのは誰だい」

少女「兄さん、あたし怖くなったわ」

少年「怖かあないよ。誰かきつと悪戯いたずらをしているんだ」

少年勇敢に力みながら

少年「人の真似をするのは失敬だぞ！」

山彦「人の真似をするのは失敬だぞ！」

少女「大丈夫兄さん？」

少年「大丈夫だよ」山に向い「馬鹿野郎」
ばか

山彦「馬鹿野郎」

少女「兄さん。向うの人きつと怒ったのよ」

少年「そうかなあ」

少年も怖気づき、妹をかばう。
おしげ

上手より吉野先生登場。
よしの

少女「あら先生よ」

少年「あ、吉野先生、こんちは」

先生「今日は」

少年「先生、先生は先刻、山の方で唱歌をお歌いになりましたか」
さつき

先生「いや、歌いませんぞ」

少年「でも、先生、ぼくたちが唱歌を歌っていたら向うの山でも唱歌を歌いましたよ」

先生「なるほど」

少女「それからねえ先生、あんまり真似まねをするからお兄さんが誰だれだつて仰おっしゃ言ると、向うでも誰だつて言いましてよ」

先生「なるほどね」

少年「あれは山の婆ばあが歌つたんですか」

先生「ははは、それはね山のお婆ばあさんでも神様でもない。山彦やまびこ

というものじゃ」

少年「山彦がものを言うんですか」

先生「そうじゃ、こちらの声が向うの山へ響くと、向うの山がそれを返してくるのじゃ、だからこちらの言う通りに向うでも答えるのだ」

少年「だから僕が馬鹿野郎ばかって言ったら向うでも馬鹿野郎って言いましたよ」

先生「そうだろう。だからこちらで何かやさしい事を言ってやれば、向うでもやさしい事を返してくるのじゃ」

少年「おもしろいなあ」

少女「兄さん、何かやさしい事を言って御覧なさい」

少年（山に向い）「こんちは、ごきげんはいかがですか」

山彦「こんちは、ごきげんはいかがですか」

少年少女顔を見合せて笑う。

少年少女「あなたは好い方ですね」

山彦「あなたは好い方ですね」

先生「どうだね、山彦は正直だろう。どれ私は行こう、仲よく遊んでおいで」

少年「先生、さよなら」

少年少女「さようなら」

先生下手へ去る。

第二景

舞台は前景のまま、少年は木の枝など振りて歩きまわる。

少女摘草などする。

この時舞台裏から左の歌さが聞える。

ころ ころ 小山の 小兎こうさぎは

なぜに ころ ころ お泣きだえ

お母さんがないか

実がないか

お母さんは そばに いなさるし

木の実はお山にあるけれど

九十九人の獵人かりうどが

九十九谷をとりまいて

おやこ
母子もろとも打つわいな。

少年「山彦やまびこがまた歌い出したよ」

少女「そうね」（耳をすます）

歌が終ると、下手から一匹の兎が呼吸いきをきらしながら走つて出る。

兎「助けて下さい。怖い獵人がわたしを撃ちにくるんです」

少年「その獵人はどこにいるの」

兎「あれあの坂をいま上ってます。もうじきここへ来るでしょう。」

どうぞわたしを助けて下さい。」

少女「まあ、可哀かあいそうね。兄さんどうしたら好いでしょ

少年「よし、きつとぼくが助けてあげるよ」

兎「ほんとに、坊ちゃんありがとう」

獵人撃方の構えに銃を持って、下手より急ぎ登場。

少女「あら兄さん」

少年「あ、来たな」鋭く少女に「はやく、かくして、かくして」

獵人「坊ちゃん、兎うさぎを知りませんか」

少年「なんですか」

獵人「兎を知りませんか」

少年「知っていますよ、おじさん」

この対話の間に、少女は兔をほどよき叢くさむらにかくす。

獵人「たしかこの辺へ逃込んだがなあ」（独ひとりごと語をしながら四あ

たりみまわ
辺を見廻す）

少年（獵人かりうどの注意を自分の方へ向けるようにあせりながら）

「おじさん兔の毛は白いでしよう」

獵人「ああ、その白兔、白兔」

少年「耳が長いでしょう、おじさん」

獵人「そうそう耳が長いね」

獵人、銃を杖つえにして話し出す。

少年「ね、おじさん、兔の尻尾しっぽは短いでしょう」

獵人「短いとも、これんばかりさ」

少年「それから、前脚が短くて、後脚が長いでしょう」

獵人「短くって、長くって」獵人は、自分が何をしているかを思お

もいだ

出して、「坊ちゃん、ぼくはその兎を探しているのだよ」

少年「おじさん、その兎はやっぱり赤い眼めを持っているでしょう」

獵人「ぼくは、坊ちゃんの博物の復習おさらいをしているんじゃないよ。

一体その兎は……」

少年「白兎ですね。おじさん」

獵人「白兎ですよ。何遍それを言えば好いいんだ。そんなこと言っ

ているうちに、気の利いた兎は、穴の中へもぐって昼寝をする

だろう」独語のように「この子は、よつぽど吞のみこ込みのわるい子

だな」

少年「なあんだ、おじさんは、その白^{しろうさぎ}兔^{うさぎ}を撃ちに来たの」

獵人「そうさ」

少年「だっておじさんは、いきなり兔を知らないかって言うんだ

もの、だからぼく、学校の復習^{おさらい}をしちやったのさ」

獵人「眼^めをばちくりやっている」

少年「ああ、その兔なの」

獵人「そうさ」

少年「その兔なら、もうよつぽど遠くへ逃げました。あの道の先の、ほら左側に赤松があるでしょう」

獵人「あるある」

少女は獵人^{かりうど}の方を見て笑っている。兔も出て来て見てい

る。

少年「あすこを左へ曲つて、桜の木が見えるでしょう」

獵人「ああ、見えるね」

少年「あの木から、一本、二本、三本、四本、五本、六本、十三本目の桜の下へかくれましたよ」

獵人「いや、どうもありがとう」

獵人はあたふたと、上手へ走つてゆく。

少年「おじさん、早く走らないと、また兎が逃げますよ」

少年兎に近づきながら、「万歳、万歳。兎さんもう出てもいいよ」

少女「ずいぶん心配したわ」

兎「やれやれ、ほんとに危あぶない所を助かりました。どうもありがと

うございます。」

少女「よかったわね」

少年「うまくいったね」

少年を上手に、兎をまん中に、三人手をつなぎ舞台の前へ
進み。

兎の挨拶

御見物のお嬢様坊ちやまがた、わたしはまあ何と言って皆様にお礼を申して好いいやら、あんまり嬉うれしくて、申上げる言葉も知り

ません。

これはみんな、この賢いお坊ちやまの勇氣と、親切なお嬢さまのお蔭かげです。けれどあの草むらの蔭にかくれている時、皆様はほんとうにうまくわたしをかばって下さいました。もしも皆様のうちの誰だれかが「兎うさぎはあそこにかくれているよ」とでも仰おっしゃ言いらうものなら、わたしはまあどうなっていたのでしよう。お蔭様でわたしはこれから懐しい親や兄たちの許ところへ帰ってまいります。皆様もどうか御機嫌よろしく、ではさようなら。

かすみか くもか

はたゆきか………舞台裏の賑にぎやかな合唱だんだん細りゆき

ながら

(幕)

青空文庫情報

底本：「童話集 春」小学館文庫、小学館

2004（平成16）年8月1日初版第1刷発行

底本の親本：「童話 春」研究社

1926（大正15）年12月

※「少年（獵人《かりうど》の注意をく白いんでしよう）」は、底本では二行目は3字下げ、三行目は1字下げになっています。

入力・・・noir

校正・・・noriko saito

2006年7月2日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

春

竹久夢二

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>